

鳥羽のお宝 再発見!



vol.40

教育委員会生涯学習課

☎ 25 1 2 6 8

九鬼氏の御家騒動 鳥羽から離れた原因とは?!

九鬼嘉隆の息子守隆は、慶長2（1597）年に、父の家督を継いで、鳥羽城主となりました。関ヶ原の戦いの戦功などにより、領地は加増されて5万6千石となり、九鬼家のピークを迎えました。守隆には5人の息子がおり、次男・貞隆が兄・良隆に替わり跡継ぎとなるはずでした。ところが、貞隆は病気にかかり、24歳の若さでこの世を去ってしまいます。これをきっかけに三男・隆季と五男・久隆との間で後継を巡って家臣団をはじめとす大騒動に発展しました。

寛永9（1632）年に守隆は亡くなりますが、争いは収まらず、江戸幕府の仲介により久隆を跡継ぎとし、久隆は摂津国三田（兵庫県三田市）、隆季は丹波国綾部（京都府綾部市）へ所替えを命令しました。

この騒動については、あまりくわしいことは知られていませんでしたが、当時の殿様と家臣の関係を知らうえて、とても興味深い事例とされています。また、騒動の黒幕には正室や側室といった女性の影

も見え隠れします。この度、この騒動について、くわしく研究した先生をお招きして、なぜこのような相続争いが勃発することになったのか、分かりやすくお話ししていただきます。九鬼家の人々の人間模様がよく分かりますので、みなさんにも身近に感じられるのではないかと思います。入場無料ですので、ぜひご来場ください。

とき 9月22日(土)午後1時30分〜3時30分

ところ 鳥羽商工会議所3F かもめホール

講師 福田 千鶴さん（九州産業大学国際文化学部日本文化学科教授）

題目 「九鬼家の御家騒動」なぜ鳥羽から離れることになったのか



講師 福田 千鶴さん

みんなで子育て



子育て広場

だっこでほっと

「こどもの自己肯定感」
こどもは自分のことを好きだと思っているか?

vol.23

子育て支援センター

☎・FAX 25 7 2 2 1

三重県のある調査で、「自分のことが好きでない」と思っているこどもが、小学5年生で32・1%、中学2年生で52・3%という結果を目にしました。自分のことが好きでないこどもは、その気持ちをどう捉えたらよいのでしょうか。とても悲しい思いがします。自分を否定しているということとです。

こどもには、自信を持って夢を追いかけ、キラキラ輝いて毎日を過ごしてほしい。そう願うのは、誰もが同じだと思います。

どうして自分が好きだと思えないのか。それは、周りの大人にも責任があるのではないのでしょうか。「あなたが大好きだよ」「あなたがいてくれてよかった」「あなたがいれば、きっと、自分は大切に思われている」と、自分が好きだと思える経験は、沢山させてあげたいですね。

子育て支援センターでは、18歳までのお子さんのいろいろな相談を受け付けています。みんなで一緒に子育てについて考えましょう。